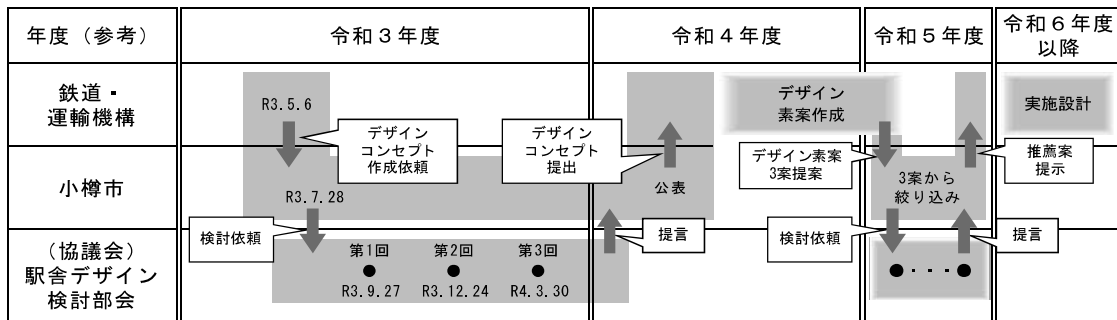


## ■ 駅舎デザイン検討部会の開催状況について

### 1 駅舎デザインコンセプト作成の流れ



### 2 駅舎デザイン検討部会での協議概要

#### (1) 第1回部会（令和3年9月27日開催）

- 【主な議題】 関連計画の説明、他都市の事例紹介、意見交換  
 【協議事項】 ●北海道新幹線新小樽（仮称）駅周辺まちづくり計画の「駅舎デザイン方針」を踏まえ、駅舎デザインコンセプトを作成することを確認  
 ➡ コンセプトに盛り込むべきキーワード等の御意見をいただいた

#### (2) 第2回部会（令和3年12月24日開催）

- 【主な議題】 第1回意見の整理・キーワード抽出、デザインコンセプトの骨子（案）、意見交換  
 【協議事項】 ●第1回意見からキーワードを抽出し、コンセプトの骨子（案）を事務局から提示  
 ➡ 文言の追加・修正等の御意見をいただいた  
 ●新駅は天神地区の景観に関わることから、市の景観審議会（小樽の歴史と自然を生かしたまちづくり景観審議会）に情報提供を行い、意見や要望をいただくこととした

#### 【参考】景観審議会の意見・要望

- これまで部会の中で出された意見やキーワードについては、小樽の歴史、小樽らしさといったものは概ね網羅されている
- 今後キーワードの持つイメージを設計者とどれだけ共有できるかが重要であり、設計者には、キーワードの裏にある雰囲気や語感を含めて形にしていきたい

#### (3) 第3回部会（令和4年3月30日開催）

- 【主な議題】 第2回意見の整理・キーワード抽出、デザインコンセプト（案）、意見交換  
 【協議事項】 ●第2回意見を整理し、デザインコンセプト（案）として3案を事務局から提示  
 ➡ 3案の良い部分を組み合わせるなど精査が必要といった御意見をいただいた

- 第3回意見を踏まえ、デザインコンセプト（案）を再精査し「提言書」として取りまとめ、令和4年5月10日に市に提出（沼澤部会長➡迫市長）

### 3 駅舎デザインコンセプト

浪漫が薫る 温もりと心地よさを感じる駅  
 ～ まちの記憶を未来へ ～

- 令和4年5月18日に、市から鉄道・運輸機構へ駅舎デザインコンセプト（要望書）を提出（迫市長➡竹津局長）
- 今回提出した要望書を基に、鉄道・運輸機構にて複数のデザイン素案を作成し、来年度以降に本市に提示される予定



【参考】

北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会 駅舎デザイン検討部会 委員名簿

役職	団体名	職名	氏名
部会長	小樽商科大学	商学部社会情報学科教授	沼澤 政信
副部会長	小樽商工会議所	副会頭	上参郷 光祐
	北海道中央バス(株)	バス事業部 副部長	荒井 征人
	北海道旅客鉄道(株)	総合企画本部 新幹線計画部 主査	広田 隆司
	小樽ハイヤー協会	指導委員長	坂田 理
	(一社)北海道中小企業家同友会 しりべし・小樽支部	支部長	松田 亙
	(一社)北海道建築士事務所協会 小樽支部	支部長	廣谷 昭
	(一社)小樽観光協会	専務理事 兼 事務局長	鈴木 健介
	小樽ホテルミーティング	代表	斎藤 英伸
	市民	市民	古村 理美
	天神町会	副会長	町田 行一
	小樽市建設部新幹線・まちづくり 推進室 (景観まちづくり担当)	主幹	廣瀬 久也
オブザーバー	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援 機構	北海道新幹線建設局 建築課 課長補佐	松谷 大樹



▲会議の状況



▲提言書の手交 (令和4年5月10日)